

第11回

なら小地域福祉活動サミット2022

日程 令和4年8月27日(土)

会場 ①現地会場：奈良県社会福祉総合センター
②オンライン会場：zoom

※①・②のいずれかをお選びいただけます。

主催 社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会
共催 奈良県

『人がつながり、まちを元気に!』



共同募金の配分金を受け
開催します

— 後援(予定) —

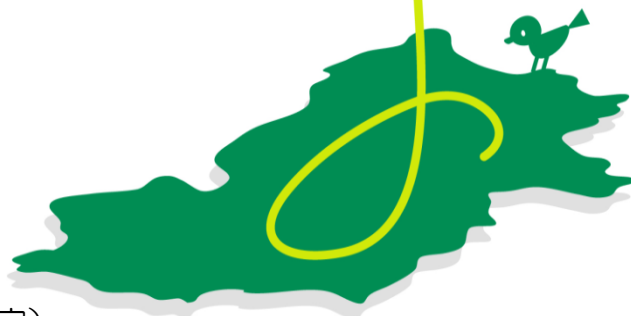
奈良県市長会 奈良県町村会

奈良県民生児童委員連合会 奈良県市町村社協事務局長会 奈良県内社協職員連絡会

日本青年会議所近畿地区奈良ブロック協議会 奈良県中小企業家同友会

奈良県ボランティア連絡協議会 奈良県生活支援サービス・活動連絡会

奈良新聞社 奈良テレビ放送 NHK奈良放送局



●ねらい 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることは誰もが望むことですが、暮らしの中には様々な困りごとがあり、暮らしづらさを感じることも少なくありません。そんな中、顔の見える身近な地域で住民同士が力を合わせて支え合う小地域福祉活動が県内でも広がり、わたしたちの暮らしの大きな安心感につながっています。

このサミットは、このような活動をしている方々が一堂に会し、その取り組みや工夫を学び合い、より一層元気な活動が広がることを目的に開催します。

今年のテーマは、「空間とコミュニティ」。家族の形態によって必要な空間が変わると同じく、地域社会が変容すると地域に必要な空間も変わります。多様な地域住民が暮らしているからこそ、距離感・空気感・共感できる空間づくりを捉え直し、多様性を認め合う地域のつながりのあり方について、未来志向で考えます。

●内 容

基調講演

「人と人がつながる地域の未来

～空間で育むコミュニティ～

講師 ウスビ サコ 氏（京都精華大学 全学研究機構情報館長（前学長））



地域の中でコミュニティを意識することはありますか？曖昧なスペース（領域）を他者と共有することで生まれるコミュニティがあります。

いま、多様な生き方、多様な暮らし、多様な活動が存在しているからこそ、「曖昧な空間」を作ることで、共生・共存できるのではないのでしょうか。

多様な住民が集まることができる空間を知り、心豊かになる暮らしにつながられるよう一歩踏み出す方法を考えてみませんか。

マリ共和国出身。北京語言大学、南京東南大学等を経て、京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。博士（工学）。2022年3月に京都精華大学・学長の任期を終える。研究対象は「居住空間」「京都の町家再生」「コミュニティ再生」「西アフリカの世界文化遺産（都市と建築）の保存・改修」など、社会と建築空間の関係性を様々な角度から調査研究を進めている。著書に『知のリテラシー・文化』、論文に「バマコの集合居住の生成と中庭型在来住宅の形成過程の考察」など。

第1分科会

参加者だけでなく、活動者も楽しんでいればこそ！

～地域に密着した活動の魅力～

【現地会場・オンライン併用】

地域に根付いている地域福祉活動は、長く続けているからこそでてくる悩み・困りゴトもあります。活動が始まったばかりだからこそ見えてくる課題もあります。変わらない大切なことがある一方で、工夫を凝らしてあえて変化を加えることもあります。

本分科会では、活動がどのようにカタチづけられてきたのか、そこに込められた思いや、創意工夫・発想の転換に注目し、活動者自身も楽しみながら広がる活動の魅力を発信します。

実践報告 堂本 太道さん・坂口 幹彦さん（桜井市／有償ボランティア『いろりの和』あさくら）
久岡 政司さん・高橋 周代さん（葛城市／東和苑ささえ愛会）
瀬川 優美さん（平群町／ネットワークひまわり）
多田 千家子さん・山田 みどりさん（上牧町／下牧ネット）
コーディネーター 奥田 佑子さん（日本福祉大学 研究員）

第2分科会

深掘りすると見えてくる、多様な地域活動の魅力を知る

～地域の暮らしを豊かにする取組～ 【現地会場・オンライン併用】

一見すると福祉っぽくない、でもよくよく聞いてみると「つながりづくり」につながっているステキな活動が地域にはたくさんあります。様々な関心や、地域への愛着から始まった地域活動があることで、多様な選択肢が生まれ、地域内のコミュニティは豊かになっていきます。

本分科会では、活動に込めた思いを知り、地域福祉活動の幅の広さ・深さを探ります。

実践報告 室田 今朝幸さん・藤本 賢司さん（大和郡山市／筒井順慶顕彰会）
花香 知寿さん（橿原市／花香山西福寺）
福中 眞美さん（生駒市／ひかりが丘自治会）

コーディネーター 川本 健太郎さん（神戸学院大学 准教授）

第3分科会

中山間は課題解決の先進地？

【現地会場のみ】

～参加者も登壇者も一緒に考える、地域福祉活動の可能性～

中山間地域は、住民同士の関係に根ざし、伝統的な文化や林業や水資源などを大切に今日まで受け継いできているかけがえのない地域です。一方、人口の減少や高齢化が急速に進み、集落の維持や担い手不足などの深刻化など、厳しい状況も抱えています。とすれば、地域福祉課題に対して、社会資源が限られていることで、解決策に悩むこともあります。

本分科会では、ないものではなく、「あるもの」に注目することで可能性を広げてきた取組をもとに、中山間地ならではの活動の可能性を「参加型」で皆さんと一緒に探ります。

実践報告 上田 広志さん（下市町／ならコープ下市ステーション）
宇野 三幸さん（下市町／しもいちこども食堂「あいあい」）
山谷 悟子さん（川上村／高原健康作りの会）
川口 晴美さん（東吉野村／ぬくもり協議体 いちたつマルシェ）

コーディネーター 金田 喜弘さん（佛教大学 講師）

第4分科会

拠点のチカラは無限大？活動者によって表情の変わる安心の空間づくり

－専門職向け分科会－

【オンライン配信のみ】

「地域の居場所」と聞くと、どのようなイメージを描きますか？「1拠点・1団体」といったイメージを持っていませんか？奈良市鳥見地区にある「ねどこ」は、当事者団体や支援団体などが曜日ごとに活動を展開しています。地域にある他の活動にはなじみにくい人が、安心してそこにいられる、あえてプログラムにこだわらない心地のよい居場所は、いったいどのようなところなのでしょう。

本分科会では、「ねどこ」の活動を紐解くことで、包摂の居場所づくりに向けた協働のあり方や専門職の関わりについて考えます。

実践報告 奈良市／「ねどこ」関係団体
(ブレイク、まんまの会、ふぁ～ちえ、ハートハース、COCO+、
奈良市社会福祉協議会)

コーディネーター 岡本 晴子（奈良県社会福祉協議会 地域福祉課長）

- 開催日程 令和4年8月27日(土) 12:15～ 受付開始
12:45～13:00 開会挨拶・オリエンテーション
13:00～14:00 基調講演
14:15～16:45 分科会
- 会場 <現地会場> 奈良県社会福祉総合センター6階大ホール他(橿原市大久保町320-11)
<オンライン会場> zoom※参加申込者に後日ID・パスワードをご案内します。
- 参加対象 地域で活動している方々、民生・児童委員、ボランティア・NPO等の活動者、当事者、市町村社協役職員・関係者、地域包括支援センター職員、社会福祉施設役職員、行政職員など。また、地域福祉に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。
- 定員 400名(定員になり次第、締切とさせていただきます)
※現地会場およびオンライン会場の合計
- 参加費 無料
- 連絡事項 参加に際し配慮(手話通訳、要約筆記等)の必要な方は、事務局まで事前にお問い合わせください。
- 申込手順

8月24日(水)まで延長受付!

①申込

- ・申込締切 **令和4年8月18日(木)必着** (定員となり次第締切)
- ・申込方法 オンライン申込(右のQRコードをご利用ください)
※FAXをご希望の場合は、所定の様式をご利用ください



②受付

- ・受付後、「受付確認票」「参加券」を送付します。
- ・3日前までに受付確認票が届かない場合は、事務局へご連絡ください。
- ・オンライン参加の方には、メールで当日の参加方法をご案内します

③当日

- ・「参加券」をお持ちください。
- ・参加をキャンセルされる場合は、必ず事務局へご連絡ください。

●現地会場案内



鉄道アクセス

近鉄橿原線「畝傍御陵前駅(うねびごりょうまええき)」
東側出口徒歩3分

※できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※お車の場合は、駐車場が少ないため、隣接の有料駐車場をご利用ください。(520円/日)

※マイクロバス等の駐車場については、近隣の有料駐車場をご案内しますので、お問合せください。

<問合せ先>

奈良県社会福祉協議会 地域福祉課【サミット担当】

TEL: 0744-29-0100 (内線120) FAX: 0744-29-0101